



図書館トピックス

全国公共図書館協議会表彰

長年にわたり、国東市図書館協議会に尽力された手嶋秀法さん(安岐町瀬戸田)が、全国図書館協会から表彰されました。



4館合同図書館まつり 開催しました

11月11日(土)アストくにさきで4館合同図書館まつりを開催し、約250名が参加。



「A.T.ミュージカル&ダンスカンパニー」親子読書グループ「ひまわり」「ふうせんのしょうちゃんショー」「市子ども司書」で盛り上がりました。

4館のミニクリスマス会にぜひどうぞ

子ども司書たちと図書館司書の読み聞かせとクリスマスの工作をします。

日時 12月9日(土) 午前11時から

場所 くにさき・武蔵・安岐・国見図書館

おたのしみプレゼントキャンペーン

図書館で購入している雑誌の付録をプレゼント。

募集期間 12月16日(土)～令和6年1月7日(日)

申込方法 各図書館で申込用紙に記入。

※おひとり様 **各館3口** まで

当選発表 令和6年1月12日(金)に発表・掲示します。

図書館イベントカレンダー

12/14(木) あかちゃんおはなし会
午前11時から くにさき図書館

休館情報(市内全館)

毎週月曜 図書館休館日 12/28(木) 資料整理日
12/29(金)～1/3(水) 休館 1/9(火) 成人の日振替休館
1/29(月)～2/1(水) 国見図書館蔵書点検

司書のイチオシ

「無礼語辞典」

関根 健一/著 大修館書店

「打席での小細工がうまい選手だ」相手を褒めているようで実は無礼な表現。何気なく口にする言葉や使い方が不快な思いにさせているかも。無礼になる例文のほかに、言い換え表現も収録されています。



自分の言葉遣い・言葉選びが間違っていないか?と見直してみました。コミュニケーションの基本は優しい会話からと再認識しました。

国見図書館 神田 加代

安岐中学校(3年生)のイチオシ

「キノの旅」

時雨沢 恵一/著 電撃文庫

全20巻以上のシリーズ。一冊の中にたくさんの短編があり、登場人物さえ分かればどこから読んでも楽しめます。一話一話にメッセージがあります。



この本は私が初めて買った短編集です。個性的なキャラクターや旅先の文化にとっても引き込まれます。私は本が好きなので小説関係の仕事に興味があります。

安岐中学校3年 けんしん 高井 健心 さん

協働展示開催中

医療保健課・市民健康課がコラボします
「大分いい歯8020推進月間」

12月 2日(土)～12月15日(金) 国見図書館
12月19日(火)～12月27日(水) 武蔵図書館

☎ 国見図書館 82-1585
くにさき図書館 72-3500
武蔵図書館 69-0946
安岐図書館 67-3551



シリーズ部落差別の問題について思うこととある女性の体験を聞いて

文責：社会教育課 田中 清照

先日、人権講演会でAさんという女性の体験談をお聞きしました。Aさんはある青年と結婚することを決めていた。ところが、青年の身元を調べた母親はその青年が被差別部落の出身であることを理由に結婚に強く反対した。母親は、青年と結婚すれば娘が差別を受け苦労する。また、娘が被差別部落の青年と結婚することは、兄弟姉妹の結婚にも影響し、親族まで差別されるようになるというのである。しかしAさんは母親の強い反対を押し切って結婚した。母親は娘に「どうしても結婚するのなら、二度と家の敷居をまたぐな」と言い捨てた。

結婚後、Aさんは実家に立ち寄ることもできないでいたが、子どもが生まれたことをきっかけに、実家に暮らす兄のすすめもあり、子どもを連れて帰省することにした。Aさんはきつと、孫の顔を見れば母親の気持ちも変わる、と期待してたのだろう。しかし実際は、母親は孫の顔さえ見ようとしなかったのだ。

講演の途中、時折、高ぶる感情をこらえながら話すAさんの様子に「怒り、悲しみ、戸惑い」を感じながら、部落差別の悲惨さを改めて痛感した。母親は愛しい娘を差別から守るために結婚に強く反対した。しかし同時に、母親自身も娘やその結婚相手、そしてかわいいはずの孫までも差別してしまったのである。そして自身の差別意識が愛しい娘夫婦との断絶を生み、自身自身をも苦しめる結果となったのである。

講演を聞きながら「差別は、最後の最後、差別する人を不幸にする」という人権活動家の言葉を思い出した。結婚や就職など人生の大きな節目で部落差別の問題は頭をもたげる。その典型事例が1975年に発覚した「部落地名総鑑」事件だ。全国の多くの企業が、採用時に被差別部落出身者を排除する目的で「部落地名総鑑」といわれる被差別部落の所在地などを記載した冊子を利用していたのである。法務省の発表によると8種類の冊子などが見つかり、購入した企業は上場企業を中心に全国で200を超えたという。この事件の反省を契機に企業での部落差別の問題や人権問題の啓発・研修が広く行なわれるようになった。

しかし現在でも、2016年に「全国部落調査・復刻版」の出版が予告され、その後、部落の地名リストがネット上に公開される事件が起きるなど、ネット上での部落差別に関わる人権侵害が後を絶たないのが現実である。インターネットは玉石混交の世界である。良い(正しい)情報と悪い(間違った)情報がひしめき合っている。ネット上にあふれる部落差別に関する偏見や嘘の情報に惑わされないこと、また、インターネットが匿名で自分の考えを自由に表現できる場であるとしても「人を傷つける差別表現の自由」はないことを肝に銘じておきたい。



教育の里 あらかると

安岐中で租税教育公開研究発表会を実施しました

10月20日、安岐中学校で租税教育の公開研究発表会が行われました。安岐中学校は、県租税教育推進協議会より研究校として委嘱を受け、令和4年度から2年間にわたり、租税教育の研究・実践に取り組んできました。公開授業では、「地方自治と私たち」をテーマにグループ発表や、議論を行い、魅力ある国東市にするために意見を出し合っていました。



公開授業の様子